

環境経営レポート



エコアクション21[®]
認証番号008419

対象期間 2023年6月 ~ 2024年5月 (第56期)

発行日 2025年1月31日



株式会社 南建設

目次

1.会社概要	... 1
2.実施体制	... 3
3.環境経営方針	... 4
4.中期環境目標	... 5
5.環境活動計画	... 6
6.環境目標の実績	... 7
7.実施状況評価及び今後の取組み	... 8
8.環境関連法規などの順守状況	... 9
9.ボランティア清掃活動	... 10
10.株式会社南建設のSDGs宣言	... 11
11.株式会社南建設の取組み	... 12
12.代表者の評価と見直し	... 13



1.会社概要

(1)事業所名及び代表者氏名

株式会社 南建設
代表取締役 南 隆博

(2)事業所所在地

本 社 ㊦862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上1丁目45番1号
駐車場・倉庫 ㊦862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上1丁目39番17号
資材置場 ㊦869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水字北原1411

(3)環境管理責任者氏名
及び連絡先

環境管理責任者 南 隆博
TEL 096-381-1655
FAX 096-381-2335 E-mail minami@k-minami.jp

(4)事業内容

特定建設業 熊本県知事許可 (特-4) 第3436号
有効期限 令和4年10月30日～令和9年10月29日
(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業)

産業廃棄物収集運搬業 熊本県知事許可 第04301006461号
有効期限 令和6年2月18日～令和11年2月17日
(金属くず、がれき類、廃プラスチック類)
自社建設工事の関連産業廃棄物のみ取り扱い



株式会社 南建設

1.会社概要

(5)所有車両・重機

4tダンプ 2台
3tダンプ 1台
4tユニック 1台

バックホウ 0.70m³ 1台
0.45m³ 1台
0.25m³ 1台
0.20m³ 3台
0.15m³ 1台

タイヤショベル 0.35m³ 1台

内、産業廃棄物運搬車両

4tダンプ 2台
3tダンプ 1台

(6)事業規模

資本金 3,000万円
売上高 4億3,300万円
設立 昭和45年3月25日
事業年度 6月～5月
従業員 20名

(7)収集運搬量

コンクリートがら 690t
アスファルト・コンクリートがら 1,223t (令和5年度実績)

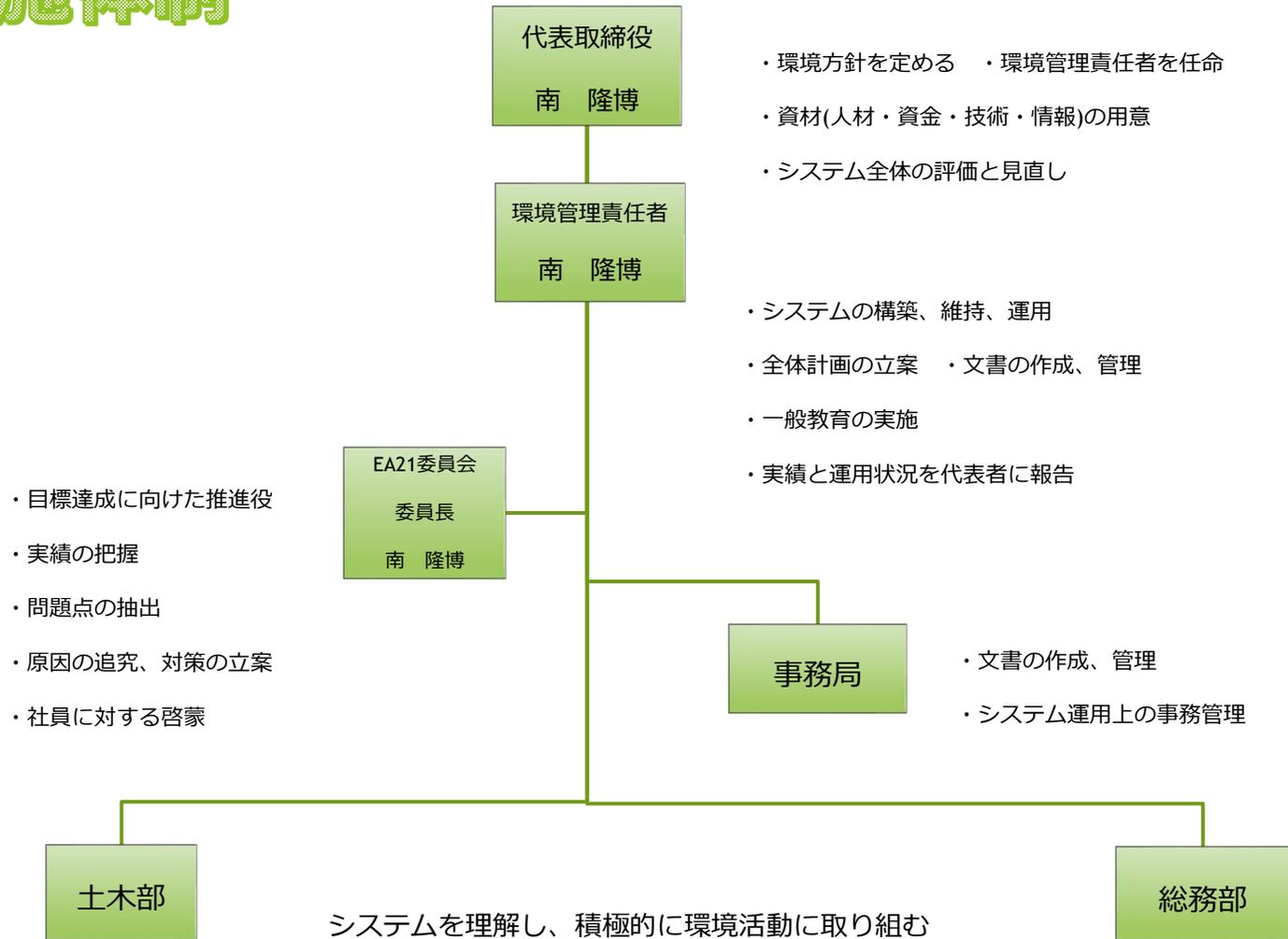
(8)取組みの 対象組織・活動

全組織
全事業



株式会社 南建設

2.実施体制



3.環境経営方針

経営方針

『熊本』の建設企業として、地域に貢献する事業活動を行います

基本理念

株式会社南建設は、《壮の都》熊本にあり、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、建設業を通じて積極的に環境保全に取り組み、自然環境との共存を目指し活動します

行動方針

当社は、環境理念に基づいた環境管理システムを構築して、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に環境負荷を軽減していきます
そのために、次項を実行することによって、継続的な改善に努めます

- 1.環境負荷の低減と環境保全活動への取り組み
 - ①電力・化石燃料の使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - ②産業廃棄物3R(減量・再利用・再生利用)の徹底
 - ③水の効率的な使用による排水量の削減
 - ④環境に配慮した施工(騒音、振動、大気汚染)
- 2.環境関連法規を順守します
- 3.環境活動レポートを作成し、社内外に公表します
 - ①EA21中央事務局のホームページ
 - ②本社受付カウンターに置く
- 4.全従業員に、エコアクション21の活動を周知し、全員参加で取り組みます

改定日 2023年6月1日
株式会社 南建設
代表取締役 南 隆博



株式会社 南建設

4. 中期環境目標

項目	55期 (2022年6月～2023年5月)		56期 (2023年6月～2024年5月)		57期 (2024年6月～2025年5月)
	実績(基準値)	単位	目標	実績	目標
①CO ² 排出量削減	79943.23	kg-CO ²	79,143	96792.03	95,824
②電力使用量削減	3,052	KWh	3,021	5,701	5,644
③ガソリン使用量削減	5,830	ℓ	5,771	5262.71	5,211
④軽油使用量削減	24,155	ℓ	23,913	5146.1	5,095
⑤水使用量削減	24	m ³	23	21	21
⑥産業廃棄物 リサイクル率100%維持	100	%	100	100	100
⑦一般廃棄物排出量削減	617	kg	611	3,322	3,289
⑧環境に配慮した 施工実施率100%を維持	100	%	100	100	100

※CO²排出量 = (電力②×0.462)+(ガソリン③×2.322)+(軽油④×2.586)

0.462 : 2022年度九州電力調整後排出係数(2023年12月22日発表)

※当社は、PRTR法対象物質の使用がないため、化学物質の削減及び適正管理については、目標化はしていません



株式会社 南建設

5.環境活動計画

対象項目	取組内容	時期	実施状況
①CO ² 排出量削減	②～⑤の取組結果による	通年	○
	②電力使用量削減	不在箇所、昼休みなどの消灯の徹底	通年
③ガソリン使用量削減	省エネタイプの電化製品の購入	通年	○
	急発進・急加速・空ぶかしの禁止	通年	○
④軽油使用量削減	不要のアイドリングストップを行う	通年	○
	重機の定期点検整備の実施	通年	○
	重機・車両の低燃費車への切り替え	通年	○
	重機の無駄な動作の削減に努める	通年	○

対象項目	取組内容	時期	実施状況
⑤水使用量削減	水道管からの漏水を定期的に点検する	通年	○
	洗車時は散水ノズルを取り付ける	通年	○
⑥産業廃棄物のリサイクル率100%維持	分別の徹底	通年	○
⑦一般廃棄物物理排出量削減	適切なリサイクル業者の選定	通年	○
⑦一般廃棄物排出量削減	分別ボックスを設置する	通年	○
⑧環境に配慮した施工	低騒音・低振動型の機械の使用	通年	○
	排気ガス対応型の重機の使用	通年	○

評価基準 ○:出来た
△:改善の余地あり
×:出来なかった



株式会社 南建設

6.環境目標の実績(第56期 2023年6月～2024年5月)

項目	単位	第55期実績 (2022.6～2023.5)	第56期目標 (2023.6～2024.5)	第56期実績 (2023.6～2024.5)	目標達成率 (%)	評価
①CO ² 排出量削減	Kg-CO ²	79943.23	79,143	96792.03	82	○
②電力使用量削減	kwh	3,052	3,021	5,701	53	×
③ガソリン使用量削減	ℓ	5,830	5,771	5262.71	109	○
④軽油使用量削減	ℓ	24,155	23,913	5,146	464	○
⑤水使用量削減	m ³	24	23	21	109	○
⑥産業廃棄物 リサイクル率100%維持	%	100	100	100	100	○
⑦一般廃棄物排出量削減	kg	617	611	3,322	18	×
⑧環境に配慮した 施工実施率	%	100	100	100	100	○

※CO²排出量 = (電力②×0.462)+(ガソリン③×2.322)+(軽油④×2.586)

0.462 : 2022年度九州電力調整後排出係数(2023年12月22日発表)

<評価の基準> 80%以上 : ○ 80%未満 : ×



株式会社 南建設

7.実施状況の評価及び今後の取組み

項目	評価	
①CO ² 排出量削減	目標を達成することが出来なかった アイドリングストップなど、出来ることからコツコツと取り組んでいきたい	継続
②電力使用量削減	目標を達成することが出来なかった 今一度、できることを振り返り、従業員一同で取り組みたい	継続
③ガソリン使用量削減	目標を達成することができた 今後も、現場作業員一同でエコ運転に取り組み、燃費向上に努めたい	継続
④軽油使用量削減	目標を達成することができた 今後も重機の使用頻度が上がっても、作業員各々の意識を高め、エコ運転を実践できるようにしたい	継続
⑤水使用量削減	目標を達成することができた 今後も各自の節水意識を高めて、目標達成を目指したい	継続
⑥産業廃棄物 リサイクル率100%維持	工事現場ごとで、産業廃棄物の分別を徹底して行い、処分場への搬入とリサイクル率100%を維持してきた。今後も作業員の意識と知識を高め、排出量削減に努めたい	継続
⑦一般廃棄物排出量削減	目標を達成することができなかった 分別は出来ていたが、排出量自体が多かったようだ。改めて、従業員一同で努めたい	継続
⑧環境に配慮した 施工実施率	工事の施工に当たり、騒音・振動・粉塵・汚染水の防止に努めて施工している。 今後も、建設廃材のリサイクルを活用して環境に配慮した施工を行っていきたい	継続



8. 環境関連法規等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりである

適用される法規	適用を受ける内容
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬業の許可証の維持、収集運搬車両への表示、マニフェストの携帯、許可証の控えの携帯、委託契約、保管業務の順守
建設リサイクル法	対象工事の届出、土木工事に関わる分別再資源化の実施
騒音規制法	特定建設作業の届出
振動規制法	特定建設業の届出
オフロード法	適正燃料の使用、点検整備の励行
消防法	少量危険物貯蔵所の届出、保管管理基準の順守
水質汚濁防止法	事故時の届出
家電リサイクル法	リサイクル料の支払と適正処理
自動車リサイクル法	リサイクル料の支払と適正処理
リサイクル法	パソコンの廃棄時の適正処理
フロン排出抑制法	空調機の簡易定期点検

環境関連法規への違反、訴訟はありません
また、過去3年間に係関係当局からの違反等の指摘はありません
尚、地域住民からの苦情もありません



株式会社 南建設

9. ボランティア清掃活動

株式会社南建設では、従業員一同で定期的にボランティア活動を行っております



株式会社 南建設

令和6年度(2024年度)熊本市減量美化功労者表彰されました。



推薦対象

多年にわたり、地域のごみ減量化や環境美化の推進に関し、普及・啓発活動を行った個人や団体。
また、多年にわたり、ごみ減量化や環境美化活動を積極的に行い、地域のごみ減量化や環境美化の推進に貢献した個人や団体。
その他、地域の環境美化やごみ減量の推進に積極的に取り組まれている個人や団体。



株式会社 南建設

10. 株式会社南建設のSDGs宣言



◆SDGsとは

SDGsは (Sustainable Development Goals=「持続可能な開発目標」) の略です。2015年9月に国連サミットで定められた国際目標で、17の目標 (ゴール) と、ゴールそれぞれに設定された169のターゲット (解決すべき課題) から構成されています。「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを掲げており、発展途上国のみならず、日本を含む先進国でも積極的に取り組んでいます。



株式会社南建設は、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、

1. エコアクション21の取り組みを通じ、豊かな自然環境を次世代へと引き継げるようなまちづくりの実現に向けて取り組めます。
2. 創業以来60年以上に渡り培ってきた技術力を活かした施工を行い、持続可能な地域社会の実現に努めます。
3. 安心安全な生活基盤を支えられるよう、全てのステークホルダーの皆さまとの信頼関係を構築します。



環境

積極的な環境保全への取り組み

社会

働きやすい

職場環境の構築

経済

高い技術力を

活かした施工



持続可能な社会づくりに向けて良い影響を及ぼす取り組み

- 8 働きがい**
 - ・地元の生徒・学生の積極的雇用
 - ・現場ごとに外部講師を招き労働安全衛生講習会を実施
 - ・ファン付き作業着の配布
- 9 産業・革新**
 - ・国指定・最新の排気ガス騒音対応型重機の導入
 - ・測量の機械、3Dソフト等の最新機器導入
 - ・安全確保の為施工計画書を作成
- 11 持続可能な都市**
 - ・環境に配慮した施工 (騒音、振動、大気汚染)
 - ・粉じん (砂埃) 発生抑制
 - ・熊本県・熊本市と防災協定連携、熊本県建設協会
- 16 平和と公正**
 - ・環境経営レポートの公表 (エコアクション21)
 - ・環境法令遵守等のコンプライアンス管理徹底 (エコアクション21)
 - ・環境負荷軽減への取組をPDCAサイクルで実施

持続可能な社会づくりに向けて悪い影響を抑制する取組み

- 3 健康と福祉**
 - ・タイヤの空気圧チェック (月 1 回給油時に行う)
 - ・4週 6 休、4週 8 休等休暇制度の充実
 - ・安全訓練の実施
 - ・警察と連携し交通安全指導実施
- 6 清潔な水と衛生**
 - ・化学物質使用量削減への取組 (エコアクション21)
 - ・水使用量削減への取組 (エコアクション21)
 - ・下水道築造工事
 - ・散水車の水は河川の水を使用
- 12 持続可能な消費と生産**
 - ・産業廃棄物 3R (減量・再利用・再生利用) の徹底
 - ・アスファルトやコンクリート粉を極力仕訳 (コスト・環境)
 - ・産業物の再資源化・再利用の促進
- 13 気候変動への対応**
 - ・不要のアイドリングのストップを行う
 - ・排気ガス対応型重機の使用
 - ・急発進・急加速・空ぶかしの禁止
 - ・国指定・最新の排気ガス騒音対応型重機の導入



株式会社 南建設

11.株式会社南建設の取り組み

株式会社南建設 行動計画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1.計画期間 2024(令和6)年6月1日 ~ 2027年(令和9)年5月31日

2.内容

目標1:育児休業等の制度についての男性社員向けのパンフレット等を作成し、男性社員及び管理職に配布し、制度の周知を図る。

<対策>

- 2024年6月~ 社員へのアンケート調査、検討開始
- 2025年1月~ 制度に関するパンフレットの作成・配布、男性社員や管理職を対象とした研修及び社内報などによる全社員への周知

目標2:年次有給休暇の取得日数を1人当たり平均年間10日以上とする。

<対策>

- 2024年6月~ 年次有給休暇の取得状況について実態を把握
- 2024年9月~ 計画的な取得に向けて管理職研修を行う
- 2025年1月~ 各部署において年次有給休暇の取得計画を策定する

株式会社南建設では、熊本市消防団に積極的に協力し、地域社会へ貢献しています



株式会社南建設では、一般事業主行動計画を策定し、取り組んでいます



株式会社 南建設

12. 代表者の評価と見直し

見直し内容	変更の要否	指示内容
環境経営方針	否	特になし
環境経営目標及び計画	否	特になし
実施体制	否	特になし

【代表者の総合評価】

項目によって、とてもよい結果と今後の一層の努力が必要となる結果となった。
EA21の取組みを始めて、従業員一同にも環境に配慮した取組みや意識が根付いてきたように思う。
工事施工では、徹底して環境及び地域住民の方々にも配慮して、工事にあたるように努めている
ので、今後もより知識を深め、環境問題への意識を高めて、日々業務に従事していきたい。

2025年1月31日
株式会社 南建設
代表取締役 南 隆博



株式会社 南建設